

2022年度休眠預金活用事業（通常枠）  
[資金分配団体]



# 2023年度通常枠 第2回公募前研修

2024年4月18日  
株式会社クロスエイジ  
代表取締役 藤野直人

1. 自己紹介
2. 本日で伝えたいこと
3. 休眠預金活用事業に申請した背景
4. 実行団体公募前の取り組み
5. ロジックモデルについて
6. 最後に一言

# 19年間、農家の成長・成功と共に

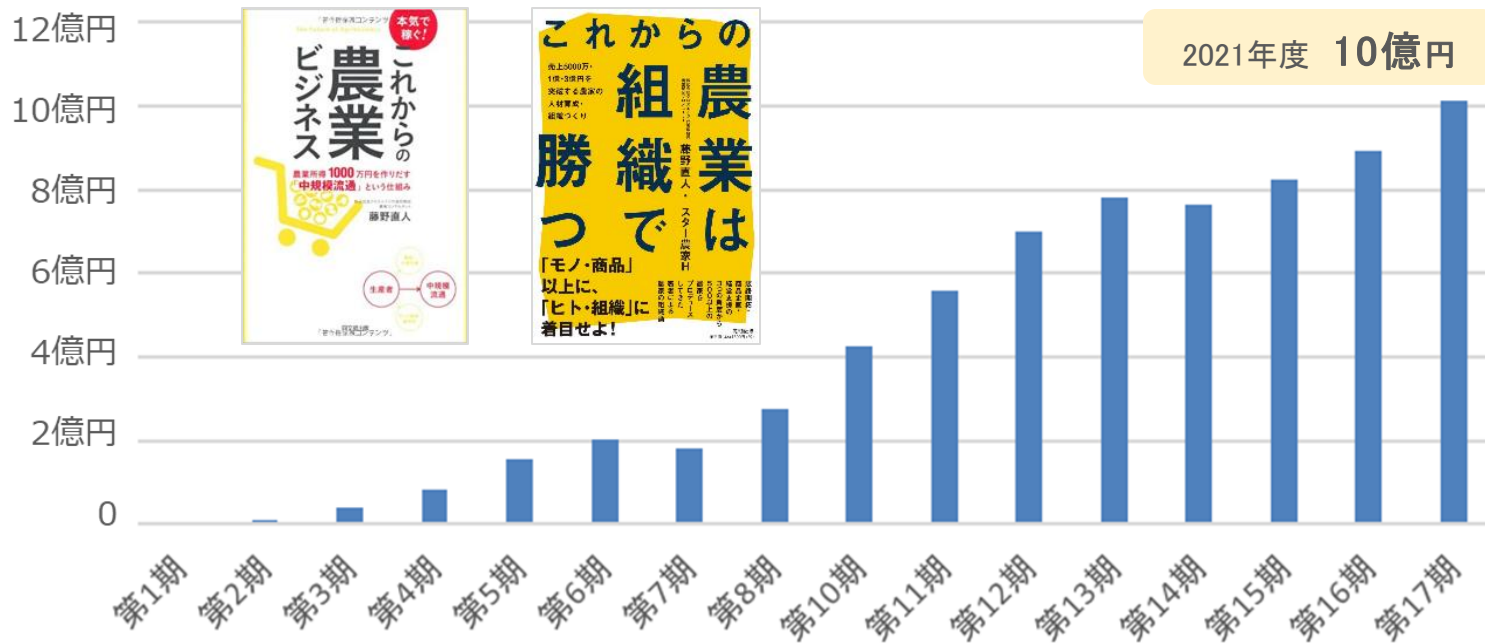
CROSS  
AGE inc.

創業	2005年3月
事業内容	農業総合プロデュース事業 2つの収益モデル ①農産物の販売に際しての商流差益 ②農家に対するコンサルティング収益
拠点	春日本社／福岡本店／仙台サテライト
資本金	79,700,000 円
代表者	代表取締役 藤野 直人
スタッフ数	30名（役員、正社員、パート・契約） ※役員・正社員の60%が新卒・第2新卒



中規模流通

組織づくりコンサル



## プロ農家に対して、スター農家になりたいという願望を 「販路開拓・商品企画・経営支援」で解決



## ■採択事業名

地域のスター的な農家による農福連携事業

(副)：大規模農家の福祉部門の内在化による地方在住の障がい者雇用創出

## ■実行団体に期待する活動概要

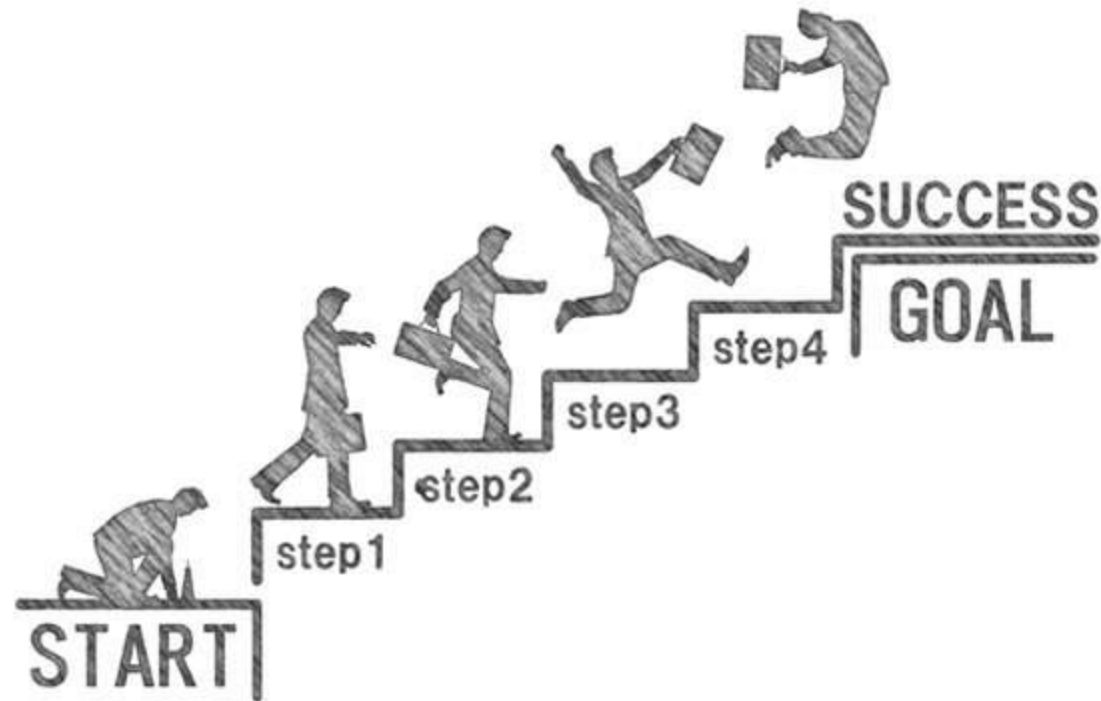
本事業により福岡県を中心とする九州地域及び宮城県を中心とする東北地域 等において、実行団体の活動地域で「スター的な農家」が

内部機能として設立した就労支援事業所が自走できるようになり、都市部に比べて雇用機会に恵まれない地域での運営により、

**「大規模農業経営の安定した人材確保と経営」「障がい者の農業現場での活躍」**ができる地域や社会を目指します。



# 仮説がはっきりしていると楽！



# 休眠預金活用事業に申請した背景



## ① 農家の人材不足

高齢化や担い手不足による慢性的な人手不足に加えて、コロナ禍で外国人人材の確保が困難になっており、農家の人材不足は加速しています。

## ② 物価高騰による農家の所得の低下

原油価格、物価高騰に伴う農薬、肥料、燃料代、最低賃金、輸送費、包装資材の値上げが相次ぎ、結果として農家の所得は低下しています。

## ③ 障害者の就労機会の地域差

国の障がい者への支援政策は加速していますが、既存の就労支援事業所では障がい者が得意とする作業の切り出し不足、法定雇用率達成や給付金が目的化している現状があります。

また、都市部に在住している障害者に対しては9割程度の雇用枠がある一方、地方に在住している障害者に対しては1割程度の雇用枠しかないという就労機会の不均衡があります。



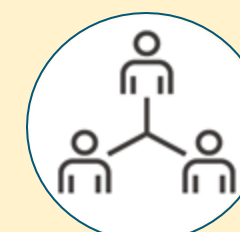
販路開拓



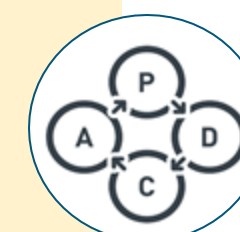
供給・販売企画



中期経営計画作成



組織づくり支援



当社の業務用ニラ取扱量年間240トンのうち80トンを供給。

売上9,000万円（2020年3月）。

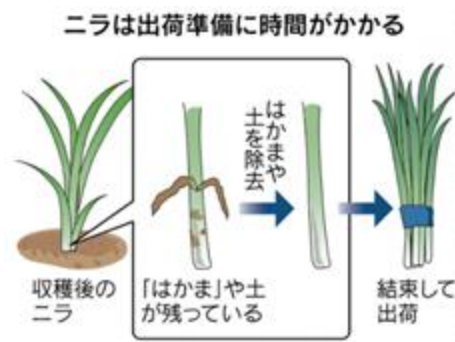
2010年にクリーニング事業を展開する企業の農業部門と

して立ち上げ。2019年秋、熊本県の補助金を活用して

新選別場を立ち上げ、日量700kgから1,500kgへ選別能力をアップ。

## 【現場力を福祉の人材でカバー】

農業生産法人とは別法人で福祉事業所を立ち上げています。農業分野においては「作業の洗い出し・切り出し」がポイントとなります。生産・販売の拡大に伴って障がい者の利用者数（50人近く）も増加しています。



「ニラ」生産で7,500万

「出荷準備」作業の切り出し（福祉部門）



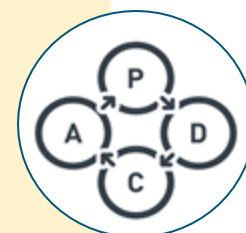
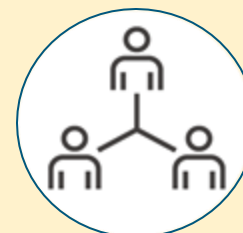
供給・販売企画



販路開拓



中期経営計画作成



組織づくり支援



2014年の夏、日本農業経営大学校在学中に中瀬兄弟の弟・健二さんが3ヶ月間インターンシップで当社に。全量JA出荷で部会からも高い評価を得ていたが経営が良ならず、直販に切り替え。兄・靖幸さんの独自販路開拓も多数あり、全量直販に。43あった農協との取引規格も9通りになった。

息子さんの存在や障がい者のパフォーマンスの高さに気づき、意欲的に農福連携を推進。  
7,000万を超える事業規模に成長してきたことなどを背景に、自社で福祉部門の内部化  
（就労支援事業所設立）の検討を2020年から開始



	前	3ヶ月前	2ヶ月前	1ヶ月前	開設
B 事業計画の検討・作成					
C 事前確認					
D 事前相談					
E 物件探し・改修					
F 職員の確保					
G 事前協議					
H 申請書類の作成					
I 利用者募集					
J 事業所指定					
K マニュアル作成					

※開設時期と開設までの進行を保証するものではありません。

■ 障がい者の直雇用

■ 専門家による開設サポート

地域のスター農家が福祉部門も持ち、うまく作業の切り出しを行い、**地方の障がい者が活躍できる場を提供**することで**Win-Winな取り組み**になる。

しかし、他産業と比べ財務基盤が脆弱である農業法人では施設や設備投資の**費用を容易に捻出できない**と思っていたところ、休眠預金活用事業を紹介いただいた。



## 一般社団法人SINKa

ソーシャルビジネスのコンサルティングなどを行ってきたノウハウを活かし、農業界の脆弱なガバナンスやコンプライアンス関連の規定の整備、資金分配のサポート致します。

CROSS  
AGE inc.

## 株式会社クロスエイジ

約20年にわたり農家の農業経営を総合的にプロデュースしてきた地意見を活かし、すべての実行団体の伴走支援を行います。

ONE GO

## 株式会社ONE GO

あまおう農家と障がい者就労支援ベンチャーの共同で設立された農業法人。支援事業所の運営・地域や関係機関との運営をサポート致します。

# 実行団体公募前の取り組み

■ 採択予定実行団体数：6～10団体

■ 事業採択金額規模：1億5,000万円＋評価関連経費5%

## ■ 1団体あたりの助成額（上限及び目安）

- ①母屋一部や選果・選別所の一部等で、既に施設スペースがあり、改修と設備設置を行うケース：1,000万円、2団体を目安。
- ②地域にある空き家物件を活用し、改修と設備投資を行うケース：2,000万円、2団体を目安。
- ③土地のみがある状態で、施設の新設と設備設置を行うケース：4,500万円、2団体を目安。

## ■ 対象となる団体

- ①本事業のアウトカムを把握し、休眠預金等活用事業の趣旨を理解して取り組める団体であること。
- ②就労支事業所設開設に必要な法人格を有する又は確実に取得できる団体であること。
- ③障害福祉サービスを提供するために必要なサービス管理責任者を配置できること。
- ④就労支援事業所開設のための物件を確保できること。
- ⑤売上3,000万円以上の農業経営であること。
- ⑥生産品目は原則として野菜、果樹、花卉であること。

※なお、本趣旨に沿った内容での複数団体でのコンソーシアム申請を認めます。

## ■ 対象地域

福岡県を中心とする九州地域及び宮城県を中心とする東北地域 等

## 3,000万円以上のそこそこ規模感のある農家は全体の1.5%

障害者の活躍の為には作業の切り出しに加えて、作業量も必要。  
しかしながら売上3,000万円を超える農家は全体の1.5%  
※年間2,000～3,000万の利用者作業収入が目安



農業者の売上規模別の分布

CROSS AGE inc.



[km-#lname#-km]さまへ  
お世話になっております。  
株式会社クロスエイジの明石 乃莉香です。

1月の下記日程にてオンラインで【農福連携セミナー&休眠預金活用事業 公募説明会】を開催致します。

## 農福連携セミナー & 休眠預金活用事業 公募説明会

2022年12月23日 金  
2023年1月18日 水 20日 金 24日 火 26日 木  
17:00~19:00



➡➡➡ 申し込みをする

雇用の選択肢の一つとして、農福連携に興味のある方もいらっしゃるのではないでしょうか？

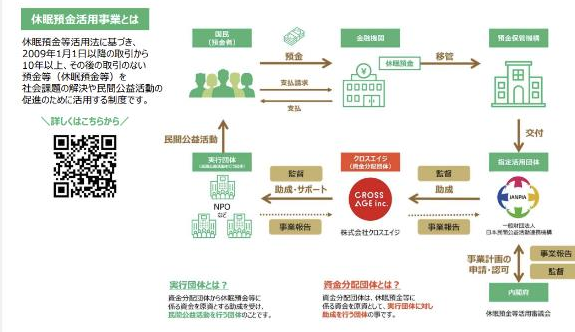
■ 既存リード3,000件へのメルマガ配信

## 農福連携セミナー & 休眠預金活用事業 公募説明会



「農家の人手不足」と「障害者の就労機会の地域差」の課題解決へ！  
この度「地域のスター農家による農福連携推進事業」というテーマで、【休眠預金】という助成事業に弊社が採択され、就労支援施設設立のためのノウハウ+資金面でのサポートを行うこととなりました！

その公募説明会ならびに農福連携に興味のある方へ【施設外就労・作業委託】【雇用型】～【農家での就労支援施設の設立】について事例をお話すると共に、プロに幅広く相談できる機会を提供いたします！  
自社での農福連携を加速するチャンスです！ 皆様のご参加お待ちしております！！  
※休眠預金事業を活用し就労支援施設設立を希望したい方は、出席をお願いいたします。出席が難しい場合は、お問い合わせください。



- 12月23日 金 17:00~19:00 (ライブ)
- 18日 水 17:00~19:00 (動画配信)
- 20日 金 17:00~19:00 (動画配信)
- 24日 火 17:00~19:00 (動画配信)
- 26日 木 17:00~19:00 (動画配信)

資金分配団体が目指すゴールについて（農野）  
について（JANPIA菊地）  
について（SINKA菊地）  
紹介【就労支援施設立ち上げ】（ONE GO嘉村）  
申請について（明石）



説明会のお申し込みはこちらから



株式会社クロスエイジ  
担当者：横木、明石、井上  
電話番号：092-406-9341  
Mail: starfarmer1@crossage.com  
所在地：〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通5-10-18 ibbBloomTenjin302

■ 売上3,000万円以上の300件の農家へ資料送付（九州・東北）

# 応募書類の内容 (PowerPoint)



# 2022年度通常枠公募前研修\_\_むすびえ 渋谷氏

PowerPoint スライド ショー - (JANPIA\_PO研修\_審査プロセスでの学びの共有\_20221018\_r2)

募課要項 事前説明会 勉強会 相談会 1次審査 事務局書類 2次審査 3次審査 審査員会議 採択

12/13 12/16 12/21 1/5・8・11 1/16~31 2/20~3/6 3/19 3/下旬

むすびえ・2021年度休眠預金通常枠の助成対象事業  
オンライン事業計画の立て方勉強会

「こども食堂をハブとした地域資源の循環促進事業」  
一多世代がつながり子どもを見守るまちづくりを目指してー

12月21日（火）14:00~15:00

説明会資料

PowerPoint スライド ショー - (JANPIA\_PO研修\_審査プロセスでの学びの共有\_20221018\_r2)

募課要項 事前説明会 勉強会 相談会 1次審査 事務局書類 2次審査 3次審査 審査員会議 採択

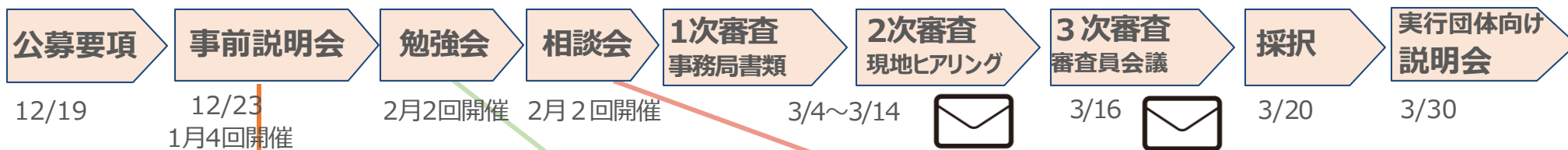
12/13 12/16 12/21 1/5・8・11 1/16~31 2/20~3/6 3/19 3/下旬

No	申請団体	視座	ガバナンス・コンプライアンス	事業の妥当性	実行可能性	継続性	先駆性(革新性)	波及効果	連携と対話	合計選考点(〇〇審査員)	合計点数(全審査員)	点数順位
1			AA 3.5	A 3	B 2	C 1	D 0	AA 3.5	A 3	16	#REF!	
2			D 0	C 1	B 2	A 3	AA 3.5	B 2	C 1	12.5	#REF!	
3												
4												
5												

基本情報  
ガバナンス・コンプライアンス  
事業の妥当性  
実行可能性  
継続性  
先駆性(革新性)  
波及効果  
連携と対話

採択

# ポイント1：流れの設計



**農福連携セミナー & 休眠預金活用事業 公募説明会**

2022年12月23日 金  
2023年1月18日 水 20日 金 24日 火 26日 木  
17:00~19:00

JANPIA × CROSS AGE inc. × SIVA × ONE CÖ

**【地域のスター的な農家による農福連携事業】  
オンライン申請書の書き方 勉強会！**

2023年2月9日 木・13日 月  
17:00~19:00

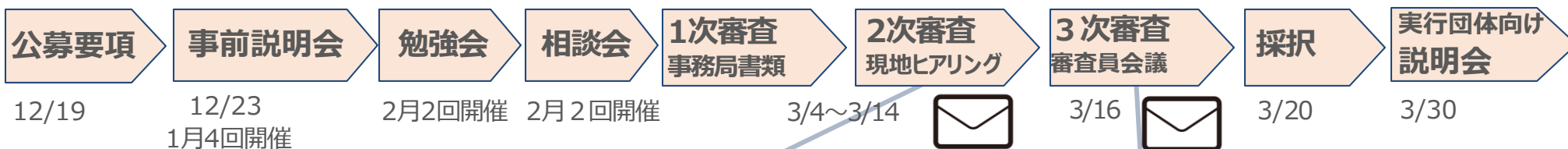
CROSS AGE inc. × CROSS AGE inc. × SIVA

**【地域のスター的な農家による農福連携事業】  
オンライン個別相談会**

2023年2月21日 火・24日 金  
9:00~18:00 各団体45分

# ポイント1：流れの設計

CROSS  
AGE inc.



**2次審査(現地調査・追加ヒアリング)後の事務局コメント**

2023年3月13日  
株式会社クロスエイジ

**株式会社山都でしか** 熊本県山都町

【事務局コメント】

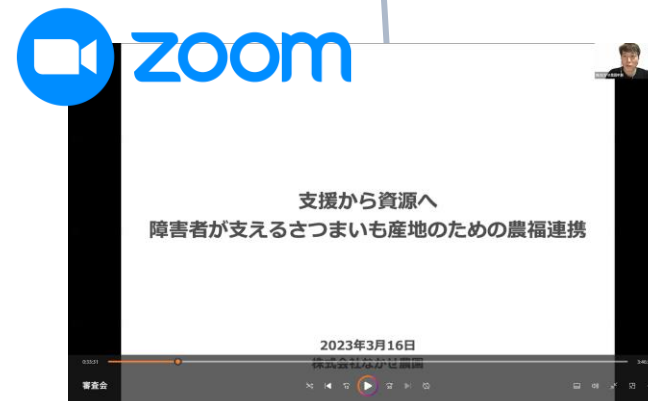
- 農家が食育や新規就農支援など山都町のサポートのために立ち上げた組織
- 山都でしかの職員4名で1箇所の売上増強があり十分な作業量が見込める
- 福祉事業所にも施設より採択の作業や結果報告作業は依頼しており、障がい者への作業切り出しは明確
- 就労支援事業所は東市原校には山都町立南後小学校を支援予定

一般財団法人 朝日のあたる家 岩手県陸前高田市

【事務局コメント】

- 朝日新聞の取材から5の財産で震災後10年以上の実績、NPO設立
- 2022年4月～産福連携（農業、水産業、福祉、福祉）のコーディネート実績あり
- 2箇所の財産が残り、毎年2,000万～10年の事業計画あり
- ※朝日新聞の取材から5の財産で震災後10年以上の実績、NPO設立
- ・体制は4名、事務局次長の鈴木氏（大船渡出身）は岩手県のサビ管を研修する法定研修官、A・B型の実務経験あり
- ・専門家として一般社団法人トナリノ佐々木代表（陸前高田出身）がファウンダーとして参画
- ・申請に際してタカアグリコンソーシアム設立、就農者・生産団体の7件で売上合計4,000万程度で安定した作業が確保できるが懸念点
- ※移住者、新規就農者、市内2箇所の売上セグメントを占める果樹で59%以下が9%、高額の産物も増加
- ・ノウハウのシェアや情報共有のサポートシステムは強み
- ・コンソーシアム農家に特化した施設外就労+施設内作業で高工賃が払えるB型、目標が立てばA型
- ・事業費は2,857万円（自己資金20%含む）で廃校を改築と冷蔵庫の費用、人件費が主な用途

■産福の一本松のあった陸前高田 ■周辺は果樹農家が多い ■産校の利用（現在は教育や交流の拠点として活用）



審査員：6名  
最終審査団体：10団体  
プレゼンテーション8分、質疑応答7分（計15分）

## ポイント2：選定のポイント

### 応募者数のKPI設定

説明会参加者数

目標：60人  
実績：66人

申請団体数

目標：10団体  
実績：9団体

採択実行団体数

目標：6～10実行団体  
実績：6実行団体

一部のジレンマ・・・  
(公平性と内情の熟知)

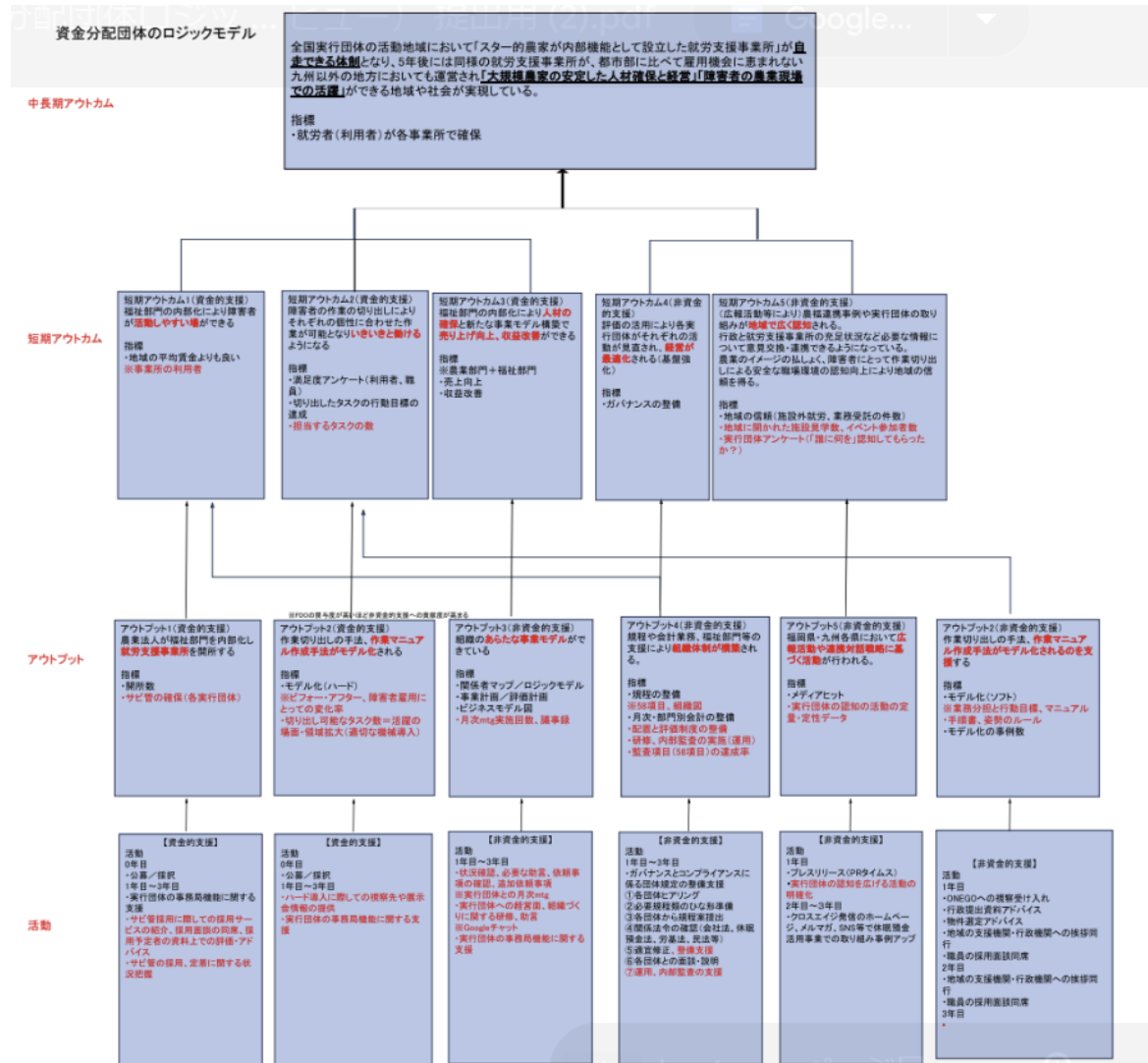


# ポイント2：ロジックモデル

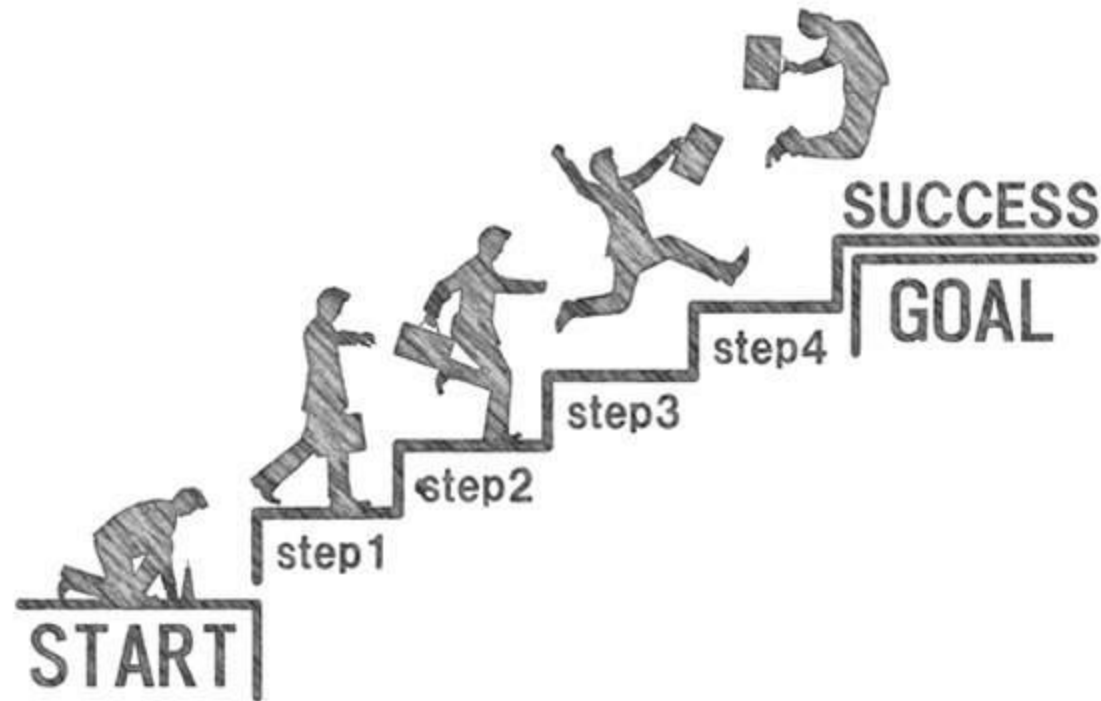
応募時点で作成

採択後に  
ブラッシュアップ (2022年12月)

評価専門家＋担当POと  
ブラッシュアップ (2023年10月)



# 仮説がはっきりしていると楽！



- ① POの役割を担う上で大切にしていること  
自分の特性を生かしている部分について
- ② 事業期間の中で「主導者・先導者」として  
どんな行動や仕掛けによって  
どんな変化を生み出したいと考えているか

**ご清聴ありがとうございました**